株式会社 Community Consulting Japan ジャパン　コミュニティリーダーの心得

＊序章

一．シェアハウス

⑴ 考え方

ⅰ．どこに住むかではなく、誰と住むか

ⅱ．家賃ではなく、自己投資

ⅲ．やりたいこと、想いがあるから、シェアハウスに住む

ⅳ．運営の基本

二．コミュニティリーダー

⑴ 在り方

ⅰ．役割

ⅱ．仕事

ⅲ．想い

三．最後に

⑴ coco japan co.,ltd.

ⅰ．ビジョン

ⅱ．序章

ⅲ．ケーススタディ

＊序章

二〇〇八年、都内に最初のシェアハウスをオープンしたことをきっかけに、

二〇〇九年　鷺ノ宮　muku

二〇一〇年　大泉学園　なでしこハウス

二〇一一年　白金高輪　名称なし

二〇一二年　高円寺　coco house

と自然な流れで数棟のシェアハウスをプロデュースすることになり、周りでもシェアハウスを運営する仲間が増えていきました。何故、いまシェアハウスが増えているのか。それは、今の20代を中心とした価値観を表現するのに、「シェアハウス」が適切であるからだと結論づけています。仲間がいて、居場所があって、将来に対する不安や、今自分が目指していることを、友人という関係を越えて、家族として共有することに、安心や繋がりを感じているように思います。両親との関係に悩む若者もいれば、友人関係や職場に悩む人もいる。それらの問題について、腹を割って話す機会そのものが少なくなっているし、聴いてくれる大人も減っているからこそ、若者が若者の夢を聴き、お互いを応援するような風土や文化が、出来上がって来ていることは、よく考えてみれば不思議ではないと思います。「組織」という名称には違和感を感じ、「コミュニティ」という名称には共感する。組織とコミュニティの違いを明確に理解できていなくても、「ゆるい」とか「居心地がいい」とか「仲間」のようなキーワードが、今の若者にとっては重要なのです。先に断っておくと、ここでいう「若者」というのは、「今の時代とは違う、新たな価値観を見いだそうとしている人」をさします。なので、30代でも60代でも、若者です。

震災を経て、人の生き方がシフトしたように思います。ヒトもモノも情報も溢れ、日々の生活に追われていたなかで、今の当たり前が一瞬で消えてしまうことを痛烈に感じた出来事でした。特に、若い世代はこれからの将来について、年金や政治や、就職や家族を持つことなど、漠然と抱いていた不安がよりいっそう現実のものとなり、「このままではダメだ、がむしゃらに頑張ろう！」とはならず、「正直、何をどう頑張っても、将来が見えないよ」というように、なんとなく将来に対して諦めの気持ちがあるように感じます。それでも、現実的に生活をするために仕事をしなければいけない。お金を稼がなければいけない。自分の不安は押し殺して、少しでも安定を求めて就職をしたり、とりあえず日々の生活はアルバイトで稼ぎながら、自分のやりたいことや方向性について、考えていく、そのようなライフスタイルを選ぶようになりました。そのなかで、増えて来たのが、シェアハウスというライフスタイルです。

最初は、賃料を安くしたい、友達と楽しく住みたい、という単純なニーズから始まったルームシェア（一部屋を数人でシェアする）から、一戸建てを借りて、価値観や想いを共有したい、自分のスキルを磨きたい、ノマドな生活がしたい、などニーズも多岐にわたり、コンセプトを持つシェアハウスも増えてきました。

誰かと共に生活するとこは、想いを共有することであり、似た価値観や同じ方向性を目指して生きる人の集団は、コミュニティと呼ばれるようになりました。血のつながっていない他人同士が、一つ屋根の下で共同生活をする、というのはまだ理解されないことが多いのも事実ですが、若者にとっては自然なことであるように感じます。シェアハウスのよさは、実際に住んでみないと分かりませんが、この本を通じて、シェアハウスのよさ、可能性、そして、想いを共にする同年代の仲間に向けて、共に歩んでいくための提案として、簡単ではありますが、メッセージとやり方を書きました。

「自分以上に、自分のことを愛してくれる人の存在が、生きることの意味となる」ことを願って、シェアハウス、コミュニティについてお話していきましょう。

株式会社 Community Consulting Japan
代表取締役　吉武大輔

一・シェアハウス

シェアハウスを通じてできることって、意外とたくさんあります。それは、人の「生活」を基本にしたビジネスであり、コミュニティであるから。自分は、なんの為にシェアハウスに住むのか。目的を明確にすることで、よりシェア生活が充実したものになると思います。

⑴ 考え方

i．どこに住むかではなく、誰と住むか

一昔前のシェアハウスの印象は、家賃が安いから住む、というものでしたが、現在は、人との繋がりや自分が興味のあるコンセプトを求めて、シェアハウスを探している人が増えています。ソーシャルアパートメントという言葉も耳にするようになりましたが、コンセプトのあるシェアハウスに住む事で、自分の夢を実現したり、出会いたい人と出会っていくことを目的としたシェア生活を望む傾向が見受けられます。

仕事と家の往復生活で、週末だけ友達やパートナーと遊ぶ、というライフスタイルでは満たされず、家に帰ったら、「おかえり」と迎えてくれる家族がいること、日々の想いや出来事をシェアできる環境に価値を感じている若者がシェアハウスを選択します。もちろん、お手頃な家賃や住みたい立地で選ぶ人も多いですが、確実にシェアハウス業界の傾向は、機能重視型から、感情重視型へとシフトしています。これからは、どこに住むか、ではなく、誰と住むか、が重要で、これはシェアハウスに限らず、どんな人と付き合うかによって、自分の人生が大きく変わるということを顕著に表しています。例えば、

・英語を学びたい人のシェアハウス
・ワイン好きの集まるシェアハウス
・IT 業界で働く人のシェアハウス
・シングルマザーのためのシェアハウス
・ペット好きの集まるシェアハウス
・起業家の集まるシェアハウス
・クリエイターの為のシェアハウス

など、多種多様なコンセプトをもったシェアハウスが増えています。コンセプトを打ち出すことで、価値観や方向性の近いひとが集まる利点は、シェアハウスの強みの一つでもあります。ですが、これからシェアハウスが増えていく中で、似たようなコンセプトでも、住んでいる人

の特性や信頼関係によって、どんな家族ができるかもまったく違ってくると想います。経営的に見ても、「人」が最高の資産として考えられますが、さらに、その人と人の「関係性」がシェアにおいては、非常に重要な要因となっています。仲がいい人たちで、この人たちといると、自分も成長を実感できる、というようなハウスは人気です。ハード的な部分でみたら、この賃料なら、もっといいところに住めるのに、なんでここに住んでいるのか。それは、一緒に住みたい人たちがここに住んでいるからで、家賃という考え方ではなく、次の章でもあげられる自己投資としてのシェアハウス、という考え方が浸透し始めている証拠ではないでしょうか。

ii．家賃ではなく、自己投資

家賃や水道光熱費といった、生活を維持するために、仕事をしている人を多くみます。家賃を払う為に仕事をしているわけではないですが、結果的にそうなってしまっている状況に陥りやすいのが20代の特徴です。確かに、家賃を支払う必要はあると思いますが、一人暮らしの家賃や水道光熱費は、何か新たな価値を生み出すでしょうか。シェアハウスで支払っている家賃は、「単なる生活維持費」としてではなく、「自己投資」としてのお金として考えています。生活コストを抑える目的のルームシェアやシェアハウスも増えていますが、本質的には、互いのライフスタイルをシェアをすることで、通常は掛け捨てである賃料という概念を、自己投資にかけるものとして、置き換えることができる。シェアハウス＋「〇〇（自分の専門性）」で、自分が一生涯をかけて取り組んでいきたいテーマに対して、挑戦していける環境をcoco japanが提供します。

一緒にいたい人と過ごして、自分の想いを共有し、家族の想いを受けとり、お互いに人間的に成長していくこと。代表の吉武が、独立しある程度のお金を稼いだ中で、行き着いた一つの答えがありました。「自分ひとりが稼げるようになって、時間もお金もある程度自由になっても、それを一緒にシェアできる人がいないっていうのは、なんて寂しいんだろう。」80年の人生のうち、数年かも知れないけど、この数年間がその後の人生について、多大な影響を及ぼすと考えています。大好きな人と、大好きな場所で、大好きなことを、大好きなだけやって、精神的にも現実的にも豊かに生きる方法が、シェアハウスにはあります。

iii. やりたいことが、想いがあるから、シェアハウスに住む

多くの同世代が、なんらかの夢や想いを持って生きていながらも、自分自身も経営者になって4年目になりますが、一人ですべてやることに限界を感じています。それぞれの専門性を活かしながら、足りない部分は小城会って、みんな、起業がしたいわけではなく、自分らしく、自由に、豊かに生きていきたくて、その手段として起業や独立を目指しているように感じます。ですが、すべての人に起業家の特性があるかと聴かれれば、そうではないというのが正直な気持ちです。

何かをひとりでやる時代は終わったのではないでしょうか。それぞれの専門性を活かしながら、立ち上げが得意な人間が立ち上げ、それを伸ばす人、継続する人、さらに発展させる人、委任する人、自分が極めるべきポイントをおさえ、そこにフォーカスすることで、自分をより生きること、他者を活かせる自分をつくることに繋がる。中途半端になんでもできてしまうと、逆に自分の可能性を狭めてしまうこともあります。自分がこれはできる、これはできない、ということを認めること、そして、周りからも同じように認めてもらえるかどうかが、自分の才能が花開くかどうかの大きな鍵となる。一人でやろうとするのをやめて、シェアハウスという人生そのものをシェアする環境に身をおくことで、みんなで何かをやり遂げよう、自分一人では難しくても、みんなとならできる、という本当の気持ちに気付くことができると思います。

iv. 運営の基本

① コンセプトを決める
② 家族を集める
③ 物件を見つける
④ 契約
⑤ 家族つくり

① コンセプトを決める

自分がどんなシェアハウスを運営したいのかをイメージしましょう。ポイントは、どこで、何をするか、ではなく、「どんな人と共に生きるのか」をイメージすることです。自分の理想のライフスタイルはどのようなものでしょうか。1年後、3年後、10年後、どんな生活を送っていたいかをイメージして、その未来も一緒に過ごしていたいと思える人達と一緒に、今から住み始めることができるのがシェアハウスです。それぞれ家族ができても、一生涯繋がっていける家族としての繋がりをつくっていきましょう。誰と、どこで、どんな生活をしたいですか？

② 家族を集める

この人の為なら、自分はどんなことでもしたいと思える。そんな人は、あなたにとってどんな人でしょうか。その人たちが欲しているものを、あなたは提供できますか？あなたの心のスイッチが入る人を自分の家族に選びましょう。何があっても、その人たちのことを信頼し続けることができる自分になっていきましょう。大切なことは、家族のことを、本当の自分の家族だと思えるかどうかです。相手が、自分の母親だったら。自分の父親だったら。兄弟だったら。子どもだったら。その基準で、相手と接することができる人を家族にしましょう。

③ 物件を見つける

自分が生活していきたい場所に、理想とする物件を見つけましょう。簡単な目安だけ共有します。5LDK 以上(リビング 12 帖以上)、120 平米以上、35 万以下。後は、コミュニティリーダーの判断で随時連絡を下さい。物件の探し方は、

・オーナーと直接繋がる為に、足を使う

・スーモや HOME'S などをチェックし、問い合わせる

・知人などからの紹介

などがありますが、一番いいのはオーナーと直接繋がることです。自分が理想とするエリアと直接の繋がりをつくるような動きをしていきましょう。

④ 契約を行う

契約に関しては、coco japan が代表して不動産会社に出向きます。当日は動向して、一緒に契約にいきましょう。

⑤ 家族をつくる

ここからがいよいよ、コミュニティリーダーの仕事であり、シェアハウスの醍醐味です。シェアハウスには、信頼関係と共通の価値観、そして方向性が必要です。どんな気持ちで過ごしながら、何を目指しているのか。人は目指すものがないと、迷ってしまいます。リーダー自らそれを提示しながらも、柔軟に家族のビジョンや方向性を引き出しながら、共に歩んでいく。そんな家族つくりをして下さい。

⑵ コミュニティリーダー

＊コミュニティリーダーとは

所属するコミュニティにおいて、ビジョンを提示し、周囲の人と挑戦と調和を司る存在

物理的には、シェアハウスの管理運営を行っています。

人事を尽くして、天命を待つ。後は、すべてを受け入れ、愛する。

うまくいかないときは、恐れから動いているか、私欲、エゴが関係しているとき。　本当に誰かのためにを思えば、必ず良い方向に循環していく。損をしている、自分ばかり頑張っていると思う時こそ、徳が貯まっています。誰からも誉められなくても、認められなくても、お天道様は見ています。すべて、信頼から始めましょう。世界で通用する人であって欲しい。在り方で、人を幸せにできるような存在。代表の吉武もまだまだですが、コミュニティリーダーとして共に取り組んでいきます。

⑴ コミュニティリーダーの役割

コミュニティリーダーに求める基準は、たった一つです。提供を受ける側ではなく、提供する側で在り続けて下さい。与える人でいて下さい。具体的に言えば、将来は自分が事業者として独立することを前提に、もしくは coco japan という会社を使って、一緒に事業を行っていく、という基準の人にコミュニティリーダーをお願いしたいと思っています。

人生の 1/3 を費やす仕事は、やっぱり楽しく、真剣に取り組めるものでありたい。仕事をするには、「仕事を遂行する力」と「仕事をつくりだす力」の二種類が必要で、多くの人が独立できない、又は失敗する要因として、仕事を遂行する力はあっても、「仕事をつくりだす力」が足りていないからです。コミュニティリーダーという与えられた仕事はできるけど、コミュニティリーダーという仕事そのものをつくりだすことができるかどうかが、これこそが経営者か雇用者かの違いです。一緒にいたい人と、一緒に住みたいと心から思うあなたは、雇用を生み出せるレベルまで自分を高めてみてください。吉武もそれを目指して、コミュニティリーダーという役割をつくりました。だから、単なる提供を受ける人で終わって欲しくない。仕事をつくりだすには、相手の悩みを解決するか、望みを叶えるか、どちらかしかありません。価値を生み出すには、そこにニーズが必ず必要で、そのギャップの大きさによって相対的に価格が決まります。吉武以上に稼げるコミュニティリーダーが出て来たら、本当に嬉しく思います。それだけ、多くの人を喜ばせ、多くの人に必要とされているという意味ですから。

生活を共にするということは、体験する出来事も、思い出や知識も一緒に経験できます。いたい人といるために、会社を経営する、という新しい価値観を一緒につくりましょう。

⑵　コミュニティリーダーの仕事

リーダーとして「生きる為に、働かなければいけない」という状況から抜け出して、自分が大好きで、かつ、周りの人が幸せになるからやっていることを、仕事にして下さい。

そのための方法を３つ考えました。

・専門性の確保
・時間の確保
・生活の確保

一．専門性を持つ

すごいことじゃなくてもいい。でも、「たった一つ」でいいから、「〇〇と言えば、あなた」と言われることを、今日から極め始めて下さい。あれもこれもできるようになる必要はありません。あなたができないことは、他の CL に任せたらいい。逆に、あなたにしかできないことで、他の CL や家族の力になって下さい。たったひとつの必殺技が、あなたの人生を大きく動かします。特別な才能は必要ないです。地味な仕事でも、心を込めて虎視眈々と続けていった人だけが、最後に自由と豊かさを手に入れます。

二．時間を確保する

今から、最も重要な資源になってくるのは、「時間」です。月 100 万の収入があるが、死ぬほど忙しくて、家族と過ごす時間や自分の好きなことをする時間もないよりも、月 30 万前後の収入が安定的にあり、大切な人たちと日々の日常を丁寧に生きていくほうが豊かではないでしょうか。そういう人には、突発的に大きな仕事や機会が訪れることがよくあります。お金が必要であれば、期間を決めてしっかり働けばいいし、今の生活リズムを大切にしたければ、無理せずにその仕事は仲間に任せて、自分はいまここにある幸せを味わえばいいと思います。

三．生活を確保する

最低限の生活費をまかないながら、時間の余裕をしっかりとつくり、自分の専門性を極め続けることができる環境。シェアハウスを活用すれば、それが可能です。そのためには、心が豊かであり、周りの人を癒し、寄り添える人であって欲しいと思います。自分のこと以上に、誰かのために、目の前の人たちの為に喜んで、自分を活かせる人でいて欲しい。

「今日も早く家に帰りたい。家族に会いたい」

そう家族にいってもらえるシェアハウスつくりをしていきましょう。

⑶コミュニティリーダーの想い

コミュニティリーダーは、自分の想いを語ります。なぜ、シェアハウスに住んでいるのか、どんな家族をつくりたいのか、なぜ、自分がそんな想いに至ったのか。その想いが、周りの人に伝わり、周囲の人間を巻き込み始めたときに、「ビジョン」に昇華します。ビジョンがあるところに、人は集まります。

自分がかかげているビジョンによって、集まる人の質と量が決まります。あなたの周りに集まる人を、フォロワーと呼びます。フォロワーは、リーダーの鏡であり、あなた自身の今を投影しています。フォロワーがどれだけ素晴らしくても、どれだけ課題があっても、それが今のあなた自身であることを認め、今目の前にいる人から目をそらすのではなく、今ここ、共にいる人達とどのように関係をつくっていくのかが重要です。リーダーが正解なのではなく、リーダーはきっかけであり、通過点に過ぎません。フォロワーの成長を通じて、リーダーは、さらに偉大な存在となっていきます。

コミュニティのリーダーは、損をしているようにみえたり、自己犠牲をしているように見えるが実はそうではなく、自分の好き嫌いを超えた役割意識であり、社会への貢献を心のよりどころとします。条件がよかったり、自分にとっておいしい話が来た時に、そちらに乗り換える人は、リーダーではない。どれだけ今の状況が悪かったとしても、今の自分にできる最善を尽くし、仲間と支えあい、苦難を乗り越えた経験そのものが、何にも代え難い財産となり、その後の人生において、豊かさの象徴となると考えています。

coco japan では、一年以上、coco japan のコミュニティリーダーを経験した人の独立や夢を全面的にバックアップしています。coco house FC による独立、ビジネスプロデュース、融資など、ご相談下さい。

最後にコミュニティリーダーにお願いしたい３つのこと

一．何があっても、家族と自分自身を裏切らない

二．常に謙虚で、真摯であること。感謝の気持ちを忘れない。

三．与える喜びを体験し、それを次のひとに伝えて欲しい

＊coco japan のビジョン

人・社会・自然が調和した次世代のライフスタイルの実現

＊coco japan の理念

コミュニティを通じて、人をつくる

＊coco japan キャッチコピー

人はコミュニティをつくり、コミュニティは人をつくる

＊coco japan コミュニティの目的

コミュニティの中で、自己表現と他者理解を繰り返すことで、「自分は何者なのか」を知る。

＊coco japan ビジョン

⑴人格形成と絆つくり

シェアハウスを運営する目的は、収益をあげることでも、サービスを提供することでも、単に家族や管理物件を増やし続けることでもなく、家族の人格形成（人間的成長）と絆（信頼関係）つくりが目的です。

⑵日本全国のインフラを共につくる

今、20 代の多くが、日本中、できれば世界中を自由に移動したいと思っています。シェアハウスは、その拠点になる可能性を秘めています。想いを共にする家族が運営するシェアハウスが、日本中にある。初めていく土地でも、家族として出会える人がいる。そんな日本をつくります。

＊coco japan のコミュニティの機能

居場所　：　あなたが、あなたのままでいれる場所

役割　　：　あなたにしかできないことが必ずある

＊coco japan のコミュニティとは

自己を表現し、他者を理解する環境

純粋意識・良知に従って生きるための物語(道筋)がビジョン

ビジョンは、自分の成長、進化によって変わるがミッションは、変化しない。

ミッションは、すべての自分の活動の根底に流れる普遍的な想いであり、生まれながらにしてそれぞれが持っているものである。だが、多くの人はそれを忘れており、年をとり、経験を積み、様々な出会いと別れを繰り返す中で、想い出していくものである。ミッションを忘れているだけの我々は、そのミッション、使命を想い出していくなかで、そのプロセスそのものを楽しむことで、気付いたときに自然とビジョンが叶っているという状態を経験する。だから、自分のミッションに従って生きていれば、ビジョンは必ず叶う。でも、叶うことが目的ではない。大切なのは、この瞬間も常に、自分らしく、今ここ、いい顔、いい気持ちで過ごすことである。

自分のことは、本当にみえない。でも、人のことはよくみえる。

人のよいところも、わるいところも、よーくみえるし、つっこめる。

でも、そこで関係性があれば、その視点が自分のためになることを知れる。

そこに関係性がなければ、単なる指摘や嫌みで終わってしまう。

相手に介入した時に、きちんと互いに愛で返せるかどうか。

課題は、一生涯、解決することはない。

＊自分の過去の体験や経験が、いつか誰かの役に立つ。

過去の経験、不運な出来事が、必ず未来の自分に繋がっている。それは、未来でしか分からない。今はその理由もわからず、現象に囚われずに、必ず明るい未来が待っていることを信じて、仲間を信じて、とにかく、今日を生ききる。いまここを生ききる。今、あなたに起こっている出来事は、すべて未来の自分からのメッセージです。

ある映画で、不妊治療をずっとしてきた女性がいました。結局彼女はこどもを授かることができず、50代になりました。彼女は、今、不妊治療専門の産婦人科で看護師として活躍しています。不妊で苦しむ夫婦に対して、時として自暴自棄になる夫婦に対し、「その苦しみ、分かるわ。私もそうだったから」治療方法を知っているが、自分は過去体験したことがない人からの共感と、自分自身が人生細田の苦しみとして経験した人からの共感。どちらが本当に人の心を癒すでしょうか。苦しみや葛藤から逃げずに、この体験・経験は必ず次の誰かのために役立つことを信じてください。「あぁ、この為だったのか」とわかるその日まで。そのときに、自分を通じて、他者や世界が癒され、真の幸せを感じることができます。

＊滞ったら、掃除をする

よりよい人生を生きていきたい、理想のパートナーが欲しい、成長しながら仕事で成果を出したい。多くの人が願うことを、たったひとつのシンプルな方法で叶える方法があります。それは、「整理整頓」いつ、誰が来ても、迎えることができる状態をつくり、キープする。それだけで、人生がうまくいきます。

整理：不必要なものを廃棄すること
整頓：既にあるものを整えること

まずは、廃棄。そして、あるものを整える。それは、人生でも事業でも一緒です。重要なこと以外は手放し、重要なことにだけ集中する。それだけでうまくいきますし、停滞したものも好転していきます。整理整頓は、誰にでもできることで、お金もかからず、徳をためることができる最も効率的な考え方です。誰かが家を散らかしたとしたら、いやいや掃除をするのではなく、「ラッキー、これで徳が貯まるな」と。そして、自分だけでなく、家族全体で開運していくために、全員でいい状態を保っていく。まずは、リーダーがその姿勢を見せること。リーダーがいい状態であれば、自然と家も家族もいい状態になります。もし、整理整頓ができていなくて、人生がうまくいかないと嘆いている人がいたら、一緒に家の掃除をして、終わった後はおいしいものでも食べて、色々語ってみてください。きっと、新しい流れが生まれると思います。

＊環境をつくる

シェアハウスの環境は、とにかく整理整頓です。

整理＝無駄なものを廃棄すること

整頓＝あるものを整えること

シェアハウスの整理整頓については、宮本がアドバイスをするので定期的に研修を受けに来て下さい。なお、サプライズで弊社代表の吉武が家のチェックに行くので、見られても大丈夫なように家の状態を整え続けて下さい。掃除や整理整頓をするのに、特別なスキルはいりません。当たり前にできることを、当たり前に。身の回りを整えることができる人は、自分を大切にしている人です。「シェアハウス整理整頓 MVP」などの企画も考えています。最も美しいシェアハウスには、家族旅行をプレゼントしたいと思っていますので、家そのものも、家族の一員として大切にしてあげてください。

物理的な整理整頓が終わった後は、「氣」を家に満たすことです。きれいでも、なんだか滞っている感じがするのを感じたことはありませんか？観葉植物を置いてみたり、空気の入れ替えをしたり、古いものを処分したり。一番は、家族みんなが、いつもいまここ、いいかお、いい気持ちでいることです。大輔がたまにいったときは、えいやーとサポートもしますね。

＊家族つくりの模擬練習

余談に成りますが、今からみんなは家族をつくっていくと想います。シェアハウスでの生活は、その模擬練習にもなると考えてみて下さい。自分の人間関係の創り方や関わりかたの癖は、そのまま自分の家族つくりと繋がっています。全員がそれぞれ、家の中で、無意識に役割を演じます。お母さん役、お父さん役、こども役、おじいちゃん役、我が侭っぽくなったり、しっかりし出したり。Aさんへの接し方は、お父さんとの関係が出ていて、Bさんへの接し方はお母さんとの関係、など顕著に相手のパターンが見えてきます。住む人が変わると役割も自然と変わるのがシェアハウスの不思議なところです。これから家族をつくっていく世代の若者が、他人とのシェアを通じて、親になる準備をしていくことも大切にしたいことのひとつです。

＊家族が落ち込んでいるときは

ただ、話を聞いて下さい。そして、「遅かれ早かれ」という言葉を大切にして下さい。

リーダーをしている人は、どうしても自分の基準で人を推し量ってしまいます。なぜ、こんなことができなんだろう、なぜ、小手先のテクニックで解決しようとするんだろう、なんでそんなに自己都合で生きているんだろう。きっと、自分の家族にすら、そうやって思ってしまうこともあると思います。そういうときは、遅かれ早かれ。すべての人の生きる道は、一寸の狂い

もなく、すべて最善の方向に向かっており、遅かれ、早かれ、良知によって生きる道に繋がっていることを想い出して下さい。

後は、明確な目標をたてること。悩んでいる人の多くは、自分が何を悩んでいるのかをわかっていないことであり、過去のことか、もしくは、まだ叶っていない未来のことについて悩んでいます。特に、女性は恋愛や結婚について悩んでいることも多く、これは女性にはわかるかもしれませんが、男性には少し理解しがたい悩みかもしれません。

＊どうしたらいいか分からなくなったら

何かスイッチが入るものに、ただひたすらに打ち込む。何をしたらいかわからない人は、すべてを全託し、一日一日、毎瞬毎瞬を今の自分にできることをしてみて下さい。次のビジョンへのヒントは、必ず日々の生活の中に眠っています。

＊初回の入居者がいる日に必ず、近所挨拶にいくこと。

上下左右は、1000円程度の菓子折りを持って。はす向かいやその他近隣は、状況に応じて。

その際、リーダーの電話番号が分かるものを手渡ししておく。※COCO JAPANで作成

＊入居したては、騒音・ゴミ・近隣との関係に、必要以上に気をつけること